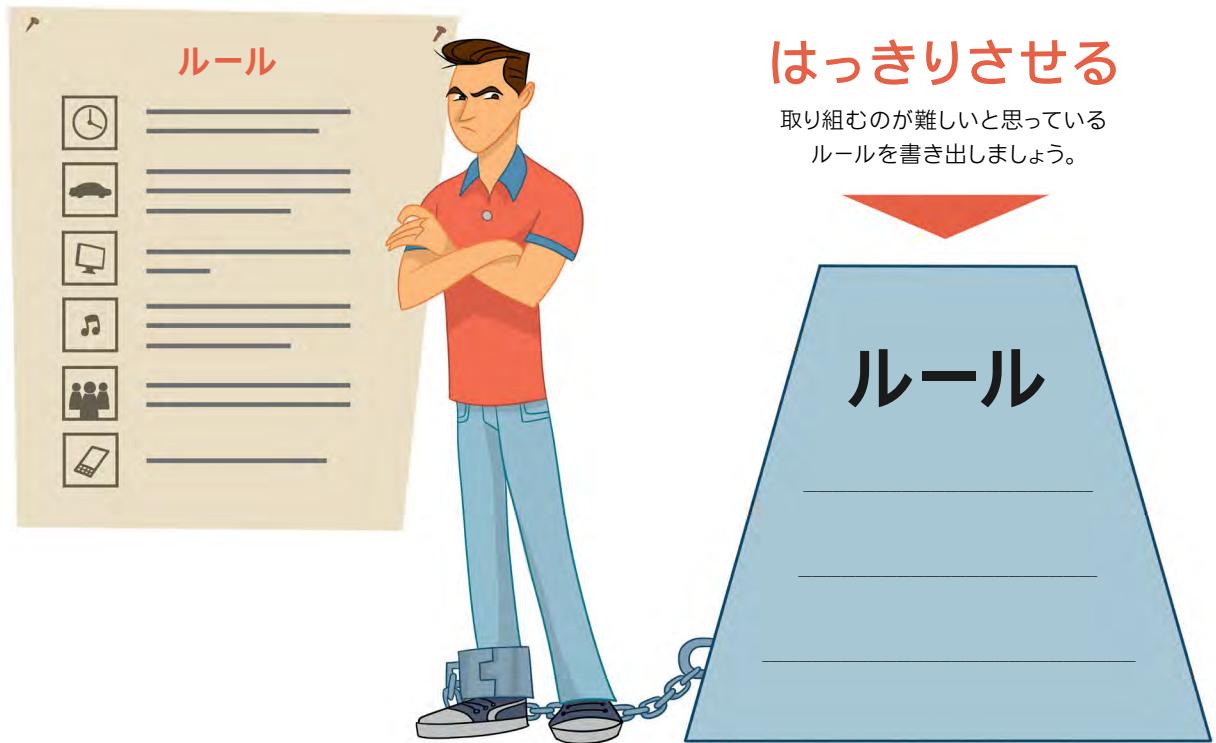


家のルールについて考える

このワークシートを使って、従うのが難しいと感じるルールについてじっくり考えてみましょう。親との話し合いの土台として活用することもできます。



▶ このルールが嫌なのはなぜですか。

▶ あなたが同意できる部分はありますか。

▶ 親がこのルールを作ったのはなぜだと思いますか。

▶ このルールについて親が考慮に入れていないと思う点が何かありますか。もしあるなら、それは何ですか。

▶ このルールをどのように変えてほしいですか。

このルールを調整してほしいと
親に頼んだら、親はどんな反応
をすると思いますか



- 「ぜったいだめ！」
- 「もしかしたらね」
- 「いいよ」



▶ 親がそう反応すると思うのはなぜですか。

▶ どうすれば、時間がかかるとしても親を安心させてゆくことができますか。(ヒント: 言葉だけではありません。行動が必要です。)

▶ 親が一番心配していることは何だと思いますか。

▶ あなたが10代の子どもを持つ親だったら、似たようなルールを作りますか。もしそうなら、どんなルールにしますか。なぜですか。

どれほど信頼されていますか

信頼は獲得するものです。親の信頼を損なったかもしれない行動を書き出してみましょう。



親の信頼を勝ち得た行動を書き出してみましょう。





あなたの“信頼バンク”には今、この問題を親に持ち出せるほど十分の“預金”がありますか。それとも、まだ待つべきでしょうか。



もう少し先まで待つのがベストだとと思うなら、その時までに“信頼バンク”に入れる“預金”を獲得するため、何ができますか。

ヒント: 完成したワークシートを親に見せて、話し合いのときに使いましょう。

いざ親に話すときには、次の聖書の言葉を思い出しましょう。「温和な答えは激しい怒りを遠ざけ、痛みを生じさせる言葉は怒りを引き起こす」。—箴言 15:1。



知っていましたか このワークシートの原則は、仕事上のルールについて雇い主に話す必要が生じたときにも役立ちます。

「親の定めたきまりに従うのは銀行にお金を返すことに似ている。信頼に値することを示せば、もっと信用してもらえるようになる」。—「若い人が尋ねる質問—実際に役立つ答え」第2巻。